



三菱電機 業務用エコキュート 防雪キット SF-1K

取付説明書

WT06394X03

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この取付説明書と共に本体ユニットの取扱説明書・据付工事説明書・保証書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。


電気配線工事は「第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)」の資格のある者が行うこと。

警告

◎電気工事をするときに


電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しないこと。

- 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。




電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする事。

- 漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。




第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。




配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



むき配線が端子台の外にはみ出さないように接続すること。


- むき線同士が接触し、感電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



◎サービスをするとき


分解・修理をした場合、部品を元通り取付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



雨天の場合、サービスはしないこと。


- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



◎一般事項


移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。




据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)

- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。




ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。




異常時(こげ臭いなど)や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災のおそれあり。




濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



⚠ 注意

◎据付工事をするときに

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- けがのおそれあり。



販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。



◎一般事項

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



運転停止後、すぐに電源を切らないこと。

- 5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



お願い


運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

- シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

※一般的な室外ユニット据付けに関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。

1. 部品

この箱には、説明書の他に下記部品が入っていますので御確認ください。

ガード	結束バンド
1個 	6個 (200mm) 予備3個

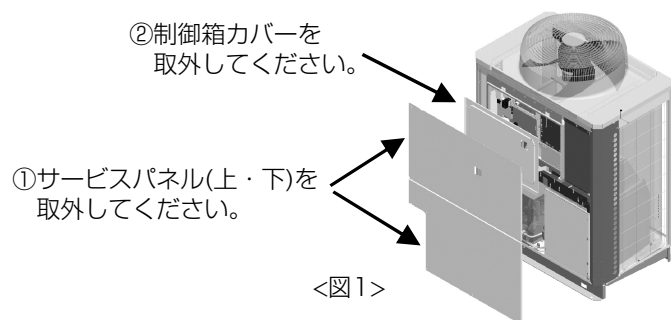
2. 取付準備

ガードは、配線類(電源配線・INV出力配線・ユニット配線)を接続したままで取付け可能です。

- 室外ユニット本体の元電源がOFFであることを必ず確認してください。
作業は元電源OFF後10分以上経過してから実施してください。
- ガード取付のため、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- 制御箱はホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。
- 取付に際し、下記の工具が必要になります。
ドライバー(+)

3. 取付要領

(1)パネル・制御箱カバーを取外します。<図1>



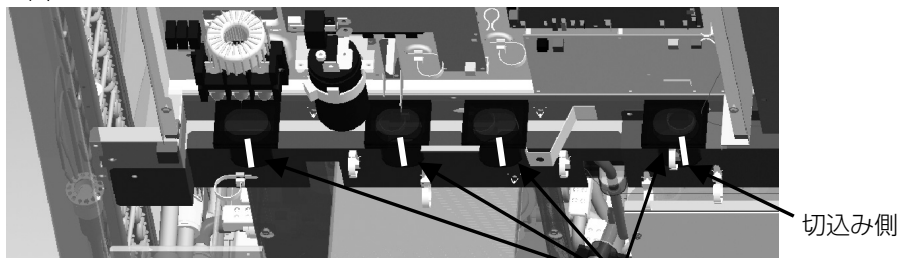
(2)制御箱を固定しているネジ (A部) を取外してください。

<図2>



(3)電源配線・INV出力配線・ユニット配線 (200V/センサ系) を接続したままで一旦ガードから取外したゴムブッシュを取付けてください。

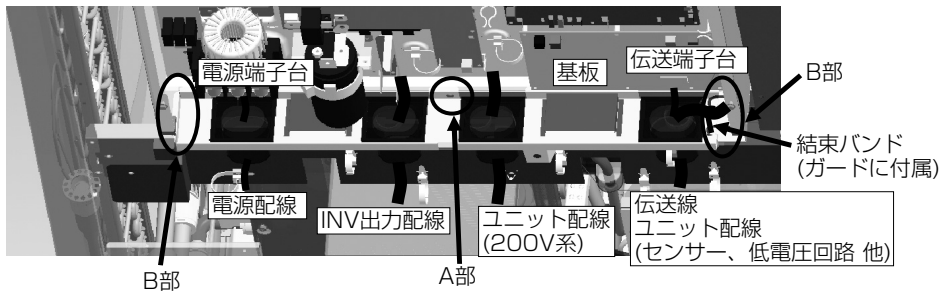
<図3>



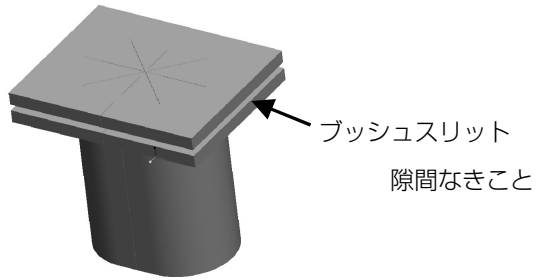
ゴムブッシュを取付ける。(4カ所)
ゴムブッシュの切込み側を前側に取付けてください。

- (4) ゴムブッシュのスリット (図5) に合わせてガードを取付けてください。
 スリットに合わせてガードを取付けた後、φ5ネジでガードと制御箱を共締めします。(A部)ネジにて固定する際、B部 (図6) に隙間がない事を必ず確認してください。

<図4>



<図5>

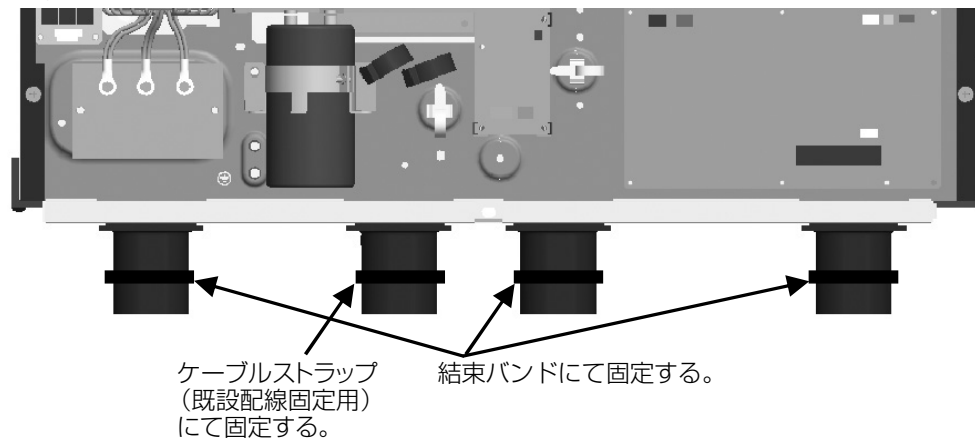


<図6>



- (5) ガード固定を行った後、ブッシュ部を結束バンドおよびケーブルストラップにて固定してください。

<図7>



- (6) 取付けたガードが充電部に接触していないか確認実施してください。
 ※ガードが端子台、基盤等の充電部に接触している場合、機器の故障、怪我の原因となります。
- (7) 取外した部品 (サービスパネル等) を分解時の逆手順で取付けてください。
 (作業完了)